

～男女共同参画社会の実現に向けて～

モア MORE

モア(MORE)とは、女と男がより豊かに、よりすばらしい男女共同参画社会実現への願いを込めて命名しました。

表紙の絵

桜のまちに暮らす市民一人ひとりが、やりがいのある仕事と充実した幸せな生活ができるようにと思い、表現しました。

ひとひと
幸手市女と男の情報紙
第25号 2020

特集

仕事と生活の調和
ワーク・ライフ・
バランスの実現を



絵・デザイン 三澤 昭人 作



特集 仕事と生活の調和 ワーク・ライフ・バランスの実現を·····	2,3ページ
女と男の共生セミナー in 幸手中学校·····	4ページ
ペーパーフルリボンキャンペーン、知っていますか? テートDV·····	4ページ

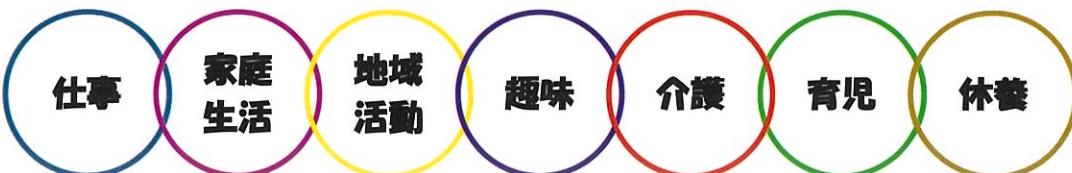
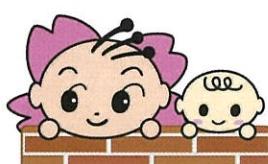
特集



多様な働き方が選択・実現できる社会をめざして

仕事と生活の調和 ワーク・ライフ・バランスの実現を

幸手市では、企業や社会全体で、お互いの働き方を認め合い、協力し合える職場づくりを、応援しています。そして、一人ひとりがバランスの取れた自分らしい豊かな人生が送れることを目指します。



市内の「多様な働き方実践企業」を紹介します



社会福祉法人 平野の里（あやめ寮）1988年3月1日開設

社会福祉法人平野の里では、知的に障がいのある方の自立促進と社会経済活動への参加に対する援助と支援を行っています。あやめ寮では、「共に考え 共に笑いを 明日も来月も 豊かな時を」という考え方のもとで、利用者の支援を展開しています。基本理念は、「一人一人を思いやり、笑顔あふれるあたたかい施設 ～しあわせ育む、あやめの手～」です。

職員は65人、その内女性は36人で、管理職の男女比は、男性67%、女性33%です。



採用人事担当 8歳双子の父

家庭があつての仕事

あやめ寮では、主体的に考えて行動できる元気な職場を目指しています。具体的には、結婚や出産、育児など、生活スタイルが大きく変化しても、引き続き、いきいきと活躍できるようにと、シフト勤務の希望を取っています。男性も、子育てや介護ができるような配慮をしています。

職員一人ひとりの生活スタイルに配慮しながら、職員全員が輝いて働く環境づくりを進めています。

職場に復帰してよかったです

産休、育休を経て、職場復帰した際、職場の仲間が「子育て」のことで気にかけてくれ、心の支えとなりました。また、勤務時間帯についても、配慮していただき、心も体も助かりました。職場復帰でき良かったことは、社会に繋がっていると感じ、ますます仕事を頑張ろうと思えたことです。



施設生活支援担当 2児の母

イクボスを知っていますか？

「イクボス」とは、職場で、働く部下やスタッフの家庭や仕事の両立を応援しながら、組織の成果を出しつつ、自らも家庭と仕事を両立している上司のことです。男性だけではなく、女性の上司も含みます。働き方改革関連法が施行され、時間外労働の上限規制の導入や年次有給休暇の取得が義務化される中で、ますます「イクボス」の存在は重要になります。仕事の効率化や残業削減を図り、多様化を推進していくために、必要不可欠な存在です。

イクボス宣言

イクボス宣言とは、従業員がワーク・ライフ・バランスを保ちながら、安心して子育てに取り組めるような環境をつくると、自治体や企業が公に宣言することです。

幸手市では、令和元年7月25日(木)にイクボス宣言を、幸手市長、幸手市副市長、総務部長、幸手市教育委員会教育長が行っています。

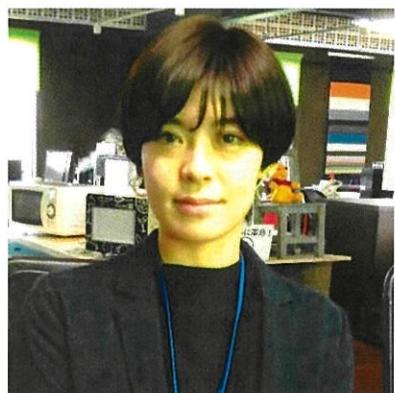


株式会社 染めQテクノロジイ 2002年1月設立

技術開発研究所として、お客様の困り事、社会の困り事を解決しようと取り組んでいます。鉄、コンクリート、木材等によってできている道路、橋、トンネル等の社会的インフラから、プラント、ビル、住宅まで、あらゆる「モノ」が劣化する中、サビの諸問題、コンクリート、木材の劣化、腐食問題、それらに対峙し、次々ソリューションを示しています。あらゆる「モノ」の再生、長寿命化に挑んでいる会社です。

正社員は77人、その内女性は31人で、管理職の男女比は、男性53%、女性47%です。

結婚、出産を経て働いている従業員が多くいます。子育て中の女性は短時間勤務で働く雰囲気がある中、同じ部署で協力し合える環境です。



入社8年、3歳の双子の母

変わらず迎え入れてくれた職場

結婚、出産、そして育児（1年半の育児休業）。

現在は、朝1時間の時短勤務。帰りも17時には仕事を終え、保育園に子どもたちを迎えて行きます。復帰時も、昨日まで働いていたかのように、全く変わらず迎えてくれました。

子どもの病気などの休みも気兼ねなくとれる雰囲気です。男性、女性、年齢に関係なく、仕事の中身で評価してくれ、やりがいがあり、仕事が面白くて仕方がありません。会社に、貢献していこうという気持ちがさらに強くなりました。

転職してよかったです

以前の会社では、休みが取りにくく、2年前にこの会社に転職しました。有休も取りやすい会社であり、子育て中の妻の負担も減らすことができます。物流部門でのやりがいのある仕事に誇りを感じると同時に、男女関係なく人間関係の良い職場の雰囲気がとても素晴らしいので、今後もずっと仕事を続けていきたいと感じています。



入社2年、8か月の女の子の父

令和元年度 女と男の共生セミナー in 幸手中学校

100の国が教えてくれた 人権、男女のあるべき姿

令和元年度「女と男の共生セミナー」を7月3日（水）に、幸手市立幸手中学校で、毎年実施されているふれあい講演会と合わせて開催しました。

今回の講師は、世界100を越える国と地域を旅してきた元中学校・高校教師の藤本正樹氏（通称ふじもん先生）です。この経験と今でも旅をし続けている体験をベースに、「グローバル時代に必要な本当の生き方・考え方」「世界の子どもたちの人権は守られているのか」「夢を持って挑戦することの素晴らしさ」など、生徒の心に響く講演でした。



講師 民族衣装の藤本正樹氏

生徒の感想

- この講演で一番印象に残ったことは、「人間はどんな生活をしていても同じ人間だ」ということです。人種差別や女性問題について考えたことがありませんでした。今回の講演で、多くのことを学ぶことができたので良かったです。（中3女子）
- 人身売買が普通に行われていることに、とても驚きました。日本と他の国を比べることがあまりなかったので、他の国の状況を知ることができてよかったです。これからはもっとこのような人権のことを知りたいです。（中1男子）

パープルリボンキャンペーン

埼玉県では、「女性に対する暴力をなくす運動」を多くの人に啓発するため、県民の皆様にパープルリボンを作っていただき、タペストリーを完成させるというキャンペーンを実施しています。（埼玉県63市町村中、27市町が実施）

幸手市では、このキャンペーンの趣旨に賛同し、「女性に対する暴力をなくす運動」の取り組みとして、令和2年2月10日（月）～2月17日（月）まで実施しました。

※パープルリボンは、DVをはじめとする女性に対する暴力をなくそうという国際的なキャンペーンのシンボルです。



知っていますか？デートDV

DVは若者間でも起きています。交際相手との関係が辛くなったら、自分の気持ちが分からなくなったら、信頼できる人に相談しましょう。
相談窓口

- 埼玉県男女共同参画推進センター
☎048-600-3800 月～土 10時～20時30分
(12/29～1/3 及び日・祝日、第3木曜日除く)
インターネット相談 (24時間受付)
<http://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/>
- 埼玉県婦人相談センター DV相談担当
☎048-863-6060 月～土 9時30分～20時30分
日・祝 9時30分～17時
(12/29～1/3 を除く)

- 幸手市役所人権推進課
☎0480-43-1111内線162 月～金 8時30分～17時15分
(12/29～1/3 及び土日、祝日を除く)

※緊急な場合は、110番！警察署でも相談できます。

編集後記

昨年、10月25、26日に行われる予定だった「日本女性会議2019さの」は、台風19号による豪雨災害のため、直前に中止になりました。長期にわたり準備に関わってきた関係者の皆様の心境はいかばかりかと思うと同時に、多くの被災された方々に心痛みました。

今年度の「モア」は、昨年度に引き続き、地域の「多様な働き方改革」を実施している企業を訪問しました。いきいきと、楽しく働いていることは、それぞれの立場を尊重し、互いに思いやりをもって接していることが伺われます。そこには、女や男だからではなく、人としてどう関わるかという視点があります。

誰もが生きやすい世の中をめざして、どう行動したらよいか、この「モア」が参考になれば幸いです。